

平成21年度 家庭用生ごみ処理機器使用状況調査集計結果

生ごみ処理容器等補助金交付者の生ごみ処理機器の使用状況について、アンケート結果を取りまとめましたので報告します。

調査の概要

1. 調査期間 平成21年10月7日（水）～平成21年11月10日（火）
2. 対象・抽出方法 平成14年度～平成19年度家庭用生ごみ処理機器補助金交付対象者661件（世帯）の内300人（世帯）に対して調査票を送付（地区別の交付割合に応じ、無作為抽出）
3. 趣 旨 生ごみ処理容器等補助金の対象となった家庭用生ごみ処理機器について、購入から数年後の使用状況を確認する。

回答状況

<質問1>あなたの住んでいる地区は。

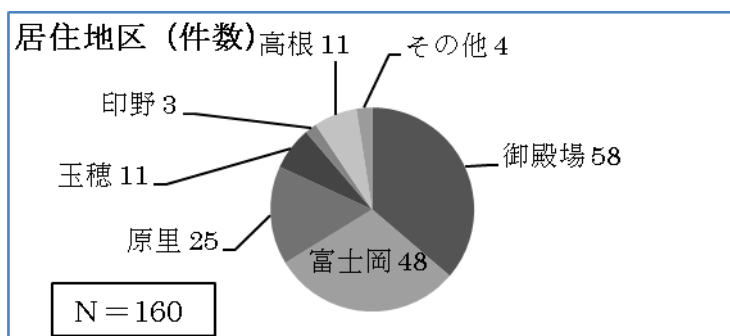
地区別の交付割合に応じて、調査票を送付 調査対象人数300件

送付数 御殿場 88件 富士岡 98件 原里 44件 玉穂 29件 印野 8件
高根 33件

回答数 合計160件（53.3%）

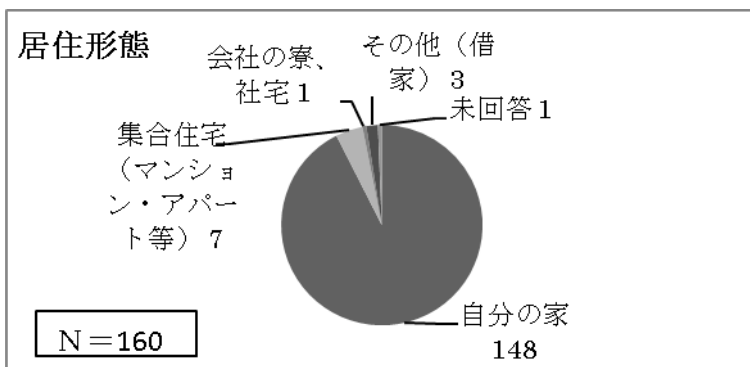
※かっこ内は、地区送付別回答率

御殿場58件（65.9%） 富士岡48件（49.0%） 原里25件（56.8%） 玉穂11件（37.9%） 印野3件（37.5%） 高根11件（33.3%） その他（市外）4件



<質問2>あなたの居住する家は。 ※以降かっこ内は、各設問の全回答に対する回答割合

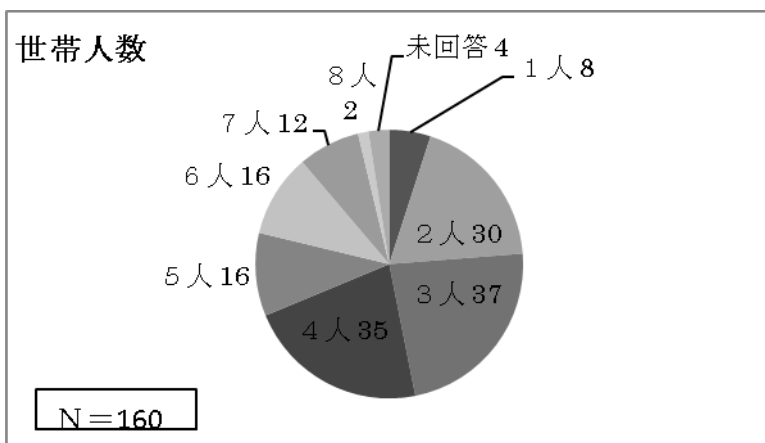
- | | |
|---------------------|-------------|
| ① 自分の家 | 148件（92.5%） |
| ② 集合住宅（マンション・アパート等） | 7件（4.4%） |
| ③ 会社の寮、社宅 | 1件（0.6%） |
| ④ その他（借家） | 3件（1.9%） |
| ⑤ 未回答 | 1件（0.6%） |



交付者の居住形態は、90%以上が『持家』です。

<質問3>世帯の人数は何人ですか。

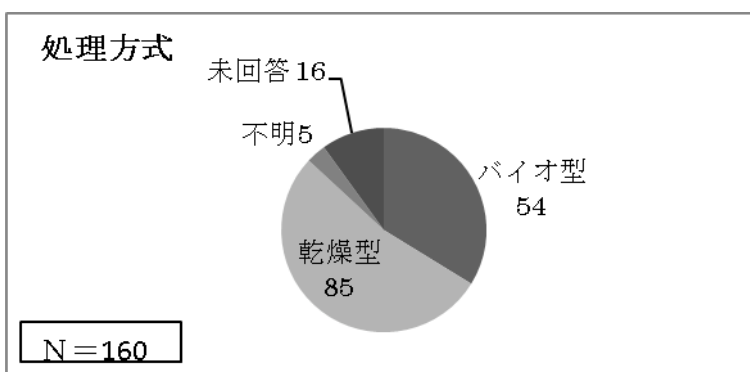
① 1人	8人 (5.0%)	⑥ 6人	16人 (10.0%)
② 2人	30人 (18.8%)	⑦ 7人	12人 (7.5%)
③ 3人	37人 (23.1%)	⑧ 8人	2人 (1.2%)
④ 4人	35人 (21.9%)	未回答	4人 (2.5%)
⑤ 5人	16人 (10.0%)		



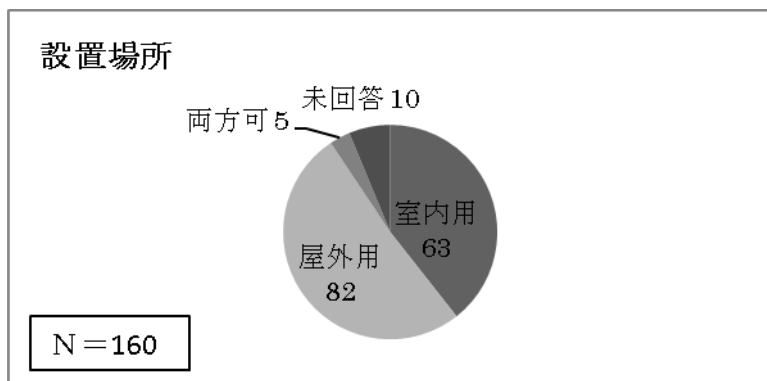
使用世帯は、『2人～4人世帯』が全体の約60%を占めています。

<質問4>購入した処理機器のメーカー・機種等。

処理方法	バイオ型	54件 (33.8%)	乾燥型	85件 (53.1%)
	不明	5件 (3.1%)	未回答	16件 (10.0%)



設置場所	室内用	63件 (39.4%)	屋外用	82件 (51.3%)
	両方可	5件 (3.1%)	未回答	10件 (6.2%)

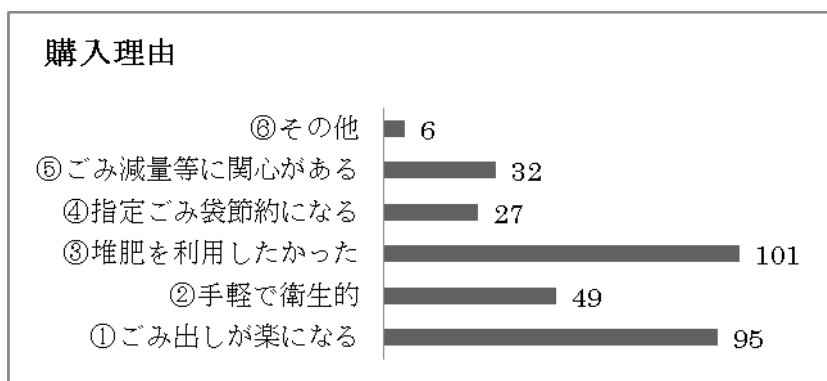


主な機器メーカー・機種

- ・エコロンポ (静岡精機)
- ・東洋羽毛もぐもぐY44M101
- ・MS-N46 (パナソニック)
- ・MS-N47 (パナソニック)
- ・生ごみヘルパーECO-B25 (日立)

<質問5>生ごみ処理機を購入した理由 (複数回答可)

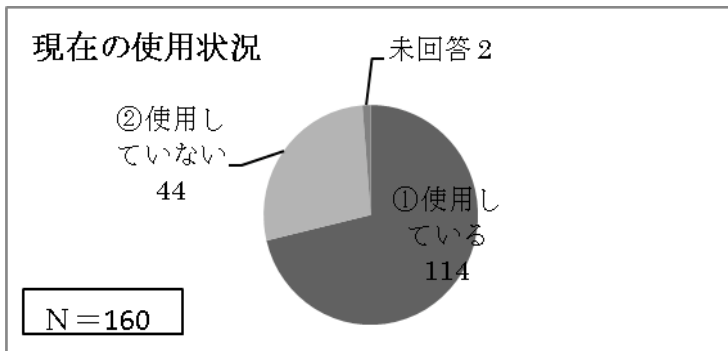
- | | |
|--------------------------------------|------|
| ① 生ごみが減れば、可燃ごみの量が減り、集積所へのごみ出しが楽になるから | 95件 |
| ② ごみ箱感覚で使用でき、手軽で衛生的だから | 49件 |
| ③ 生ごみからできる堆肥を利用したかったから | 101件 |
| ④ 指定ごみ袋の節約になるから | 27件 |
| ⑤ ごみ減量やリサイクルに関心があるから | 32件 |
| ⑥ その他 | 6件 |



主な理由としては、『**ごみ出しが楽になる**』という利便性と『**生ごみを堆肥として利用したい**』というリサイクルの意識です。

<質問6>生ごみ処理機を現在も使用していますか。

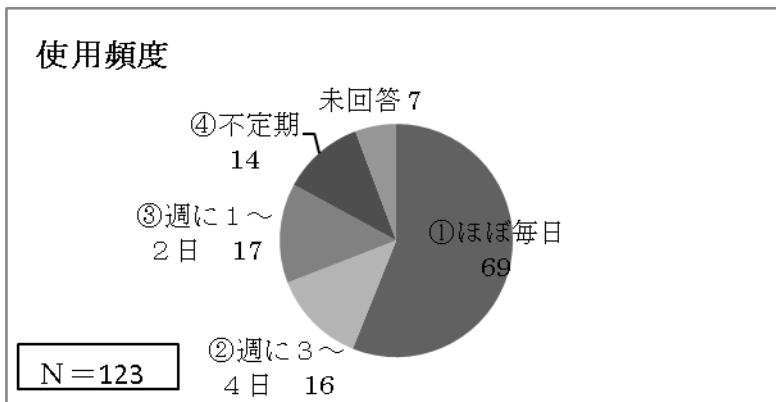
- | | |
|-----------|--------------|
| ① 使用している | 114件 (71.3%) |
| ② 使用していない | 44件 (27.5%) |
| ③ 未回答 | 2件 (1.2%) |



生ごみ処理機器を現在も使用している人は、**約70%**です。

<質問7>生ごみ処理機の使用頻度は。

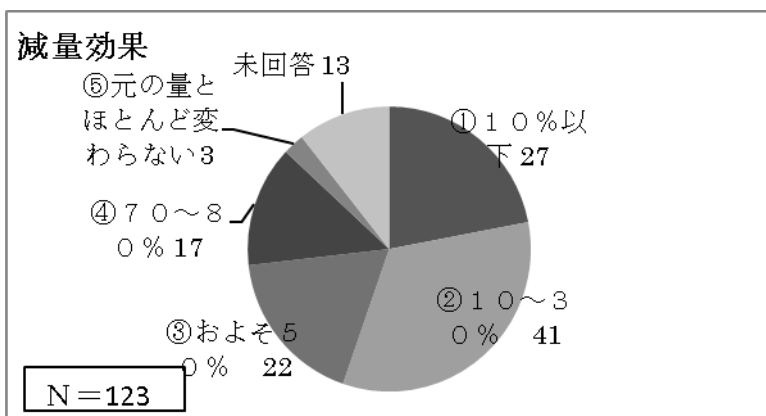
① ほぼ毎日	69件 (56.1%)
② 週に3～4日	16件 (13.0%)
③ 週に1～2日	17件 (13.8%)
④ 不定期	14件 (11.4%)
⑤ 未回答	7件 (5.7%)



使用している人の使用頻度は、50%以上が『**ほぼ毎日**』使用している。<自由記述>で生ごみ処理がうまくいっていると回答してしている人の大部分が生ごみを毎日少しずつ投入しているようです。

<質問8>生ごみ処理機器の使用により、生ごみは元の量と比較しておよそ何%に減っていますか。

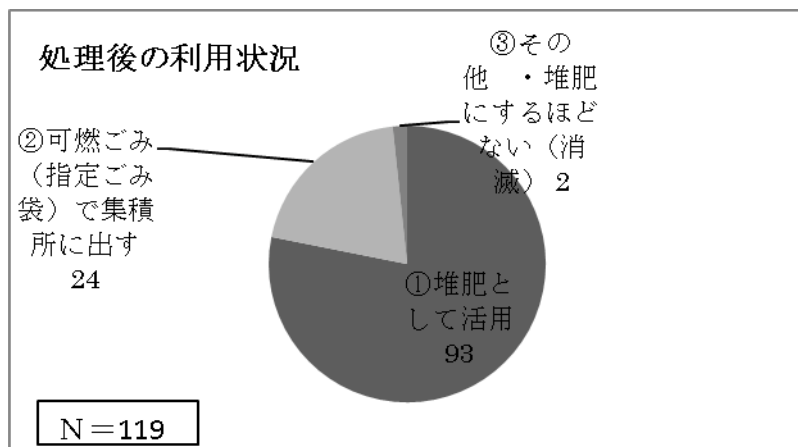
① 10%以下 (=元々あった量の10分の1以下)	27件 (22.0%)
② 10～30%	41件 (33.3%)
③ およそ50%	22件 (17.9%)
④ 70～80%	17件 (13.8%)
⑤ 元の量とほとんど変わらない	3件 (2.4%)
⑥ 未回答	13件 (10.6%)



生ごみ処理機器の減量効果は、**70%以上**の機器が生ごみを**半分以下**に減量します。

<質問9>処理済みの生ごみ（内容物）はどのようにしていますか。

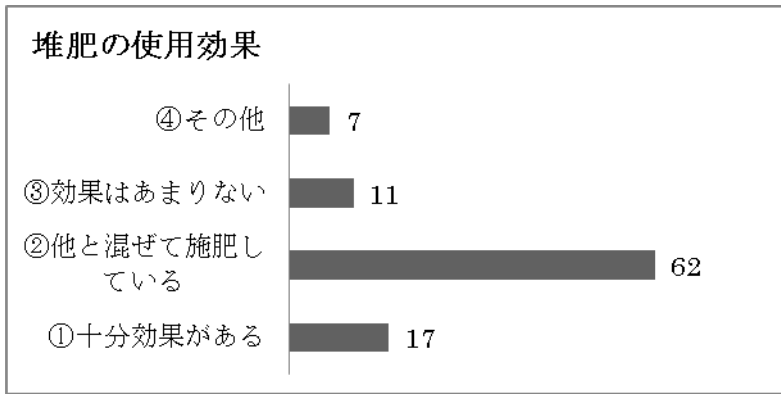
- | | |
|----------------------|-------------|
| ① 堆肥として活用 | 93件 (78.1%) |
| ② 可燃ごみ（指定ごみ袋）で集積所に出す | 24件 (20.2%) |
| ③ その他 | 2件 (1.7%) |



大部分が『**堆肥**』として活用しているが、回答者の約20%は、『**可燃ごみとして集積所に出している**』状況です。

<質問10>堆肥としての使用効果はどの程度ありますか。（複数回答可）

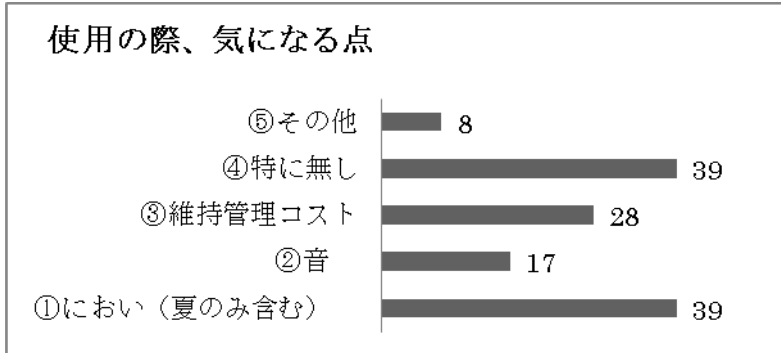
- | | |
|-----------------------|-----|
| ① 堆肥のみで十分効果がある | 17件 |
| ② 堆肥と市販の肥料を組み合わせる | 62件 |
| ③ 堆肥を利用しているが、効果はあまりない | 11件 |
| ④ その他 | 7件 |



60%以上の方が『出来上がり堆肥だけでは効果が低い』と判断して、市販の肥料を混ぜながら使っている。その他として、『友人に譲っている』『購入先に野菜宅配業者（＝生ごみ処理機器販売業者）が回収し、契約農家が使用している』『出来上がり堆肥とぬかを組み合わせて使用している』等です。

<質問11>生ごみ処理機器を使用する際に気になる点は度ありますか。（複数回答可）

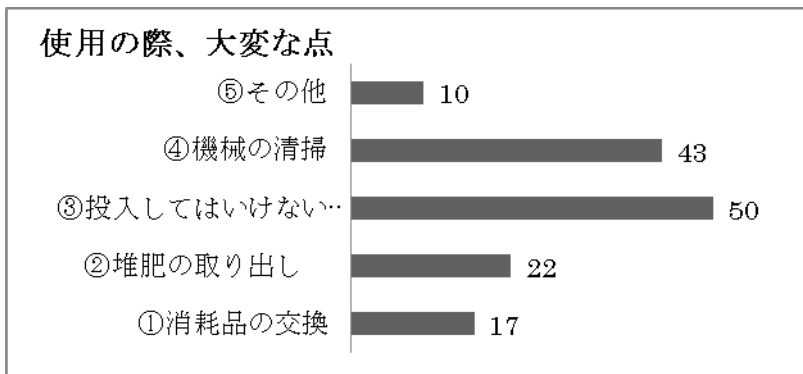
① におい	39件
② 音	17件
③ 維持管理コスト	28件
④ 特になし	39件
⑤ その他	8件



使用している人の中で一番気になる点は、『におい』です。生ごみ処理をする上で、におい対策が一番難しい問題です。また、処理方法で乾燥タイプが多いことから熱を発生させるための恒常的な電気料がかかることと、機械の故障に伴う修繕費等がかかることなどの『コスト』が気になっていることが分かる。

<質問12>生ごみ処理機器を使用する際に大変なことは何ですか。（複数回答可）

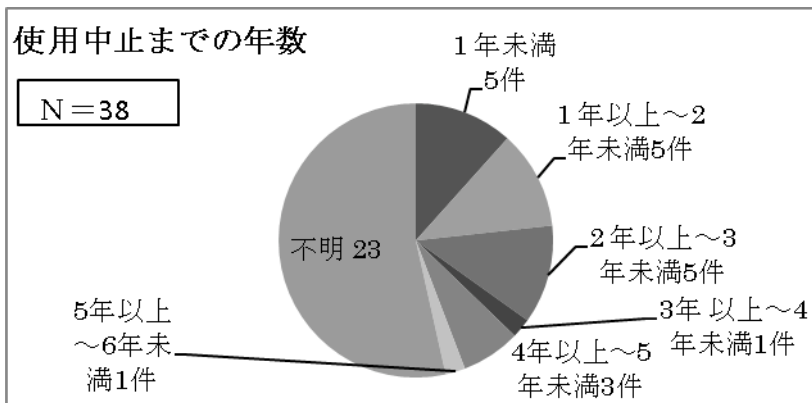
① 発酵促進材、基材など消耗品の交換	17件
② できた堆肥の取り出し	22件
③ 投入してはいけない物（骨、貝殻等）が入らないようにすること	50件
④ 機械の清掃	43件
⑤ その他	10件



使用するにあたり、主に大変だと思うことは、『投入物の制限』や『機械の清掃』です。

<質問 1 3> 生ごみ処理機器の使用を中止した人の使用年数。

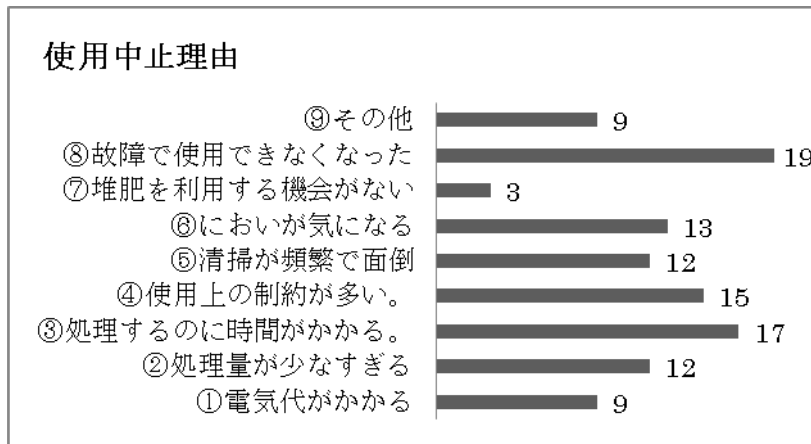
① 1年未満	5件 (13.2%)
② 1年以上～2年未満	5件 (13.2%)
③ 2年以上～3年未満	5件 (13.2%)
④ 3年以上～4年未満	1件 (2.6%)
⑤ 4年以上～5年未満	3件 (7.9%)
⑥ 5年以上～6年未満	1件 (2.6%)
⑦ 不明	24件 (63.2%)



使用年数については、使用開始がはっきりしない人が多いために不明が多いが、比較的使用開始してから『3年以内』に使用を中止している人が多い。

<質問 1 4> 生ごみ処理機器の使用を中止した理由は何ですか。(複数回答可)

① 電気代がかかるから	9件
② 処理量が少なすぎるので	12件
③ 処理するのに時間がかかる	17件
④ 投入してはいけないものなど、使用上の制約が多い	15件
⑤ 清掃を頻繁にしなければならないので面倒	12件
⑥ においが気になるから	13件
⑦ 堆肥として利用する機会がないから	3件
⑧ 故障して使用できなくなったから	19件



使用中止の主な理由としては、「故障してしまった」「処理に時間がかかる」「投入禁止などの使用制限が多い」「においが気になる」「清掃が頻繁で面倒」「機械の処理量が少なすぎる」などが挙げられます。

(その他の理由)

- ・ブレーカーが頻繁に落ちる。
- ・購入時は大人数世帯であったが、単身になったため。
- ・虫が発生したため。
- ・バイオチップ、バイオボール等の費用がかかるため。
- ・機械の調子があまり良くないので、使用を中止し、生ごみ回収を利用している。
- ・畑で堆肥化した方が楽だったため。
- ・畑をすることがなくなったので、使わなくなった。
- ・冬季中に物が入ったままで凍って使用できなくなった。

<自由記述欄>

- ・思った以上に処理能力が少なく前処理には手間がかかる。
- ・市から半分の補助金を負担してもらったが、無駄だったと思う。
- ・4人家族で1日3食の食事をするので、処理能力が追いつかない。
- ・もっとよく研究すべきであった。
- ・ごみ出しの回数が週1回になりました。(ごみの臭いがあまりないので、袋いっぱいになるまで捨てません。)
- ・処理機を使用してから捨てるごみが減った。
- ・生ごみ処理機は、我が家にとってはなくてはならないものになりました。もし、壊れてしまってもまた購入したいと思います。
- ・毎日、生ごみ処理機器を利用しているため、清潔な台所にしておけます。できた堆肥は、きれいなお花作りに使えますし、1石2鳥の良い点があります。
- ・期待した割にうまく堆肥が出来なかった。生ごみの量が多すぎたためと思われる。
- ・臭いが発生するため、室外に置いているが、生ごみを移すことが面倒になっている。
- ・生ごみの臭い・小バエから解放され、ごみの減量にもなったので、購入して本当に良か

ったです。

- 16年の購入した時には臭いがなかったのに今回19年に購入したものは臭いがひどい。
- 5年以上使用していますが、今のところ修理の必要がなく、買った時は高価と思いますが、コストが電気代だけなので助かっています。
- 投入量が多いとオーバーフローして追加バイオ剤必要となる。堆肥は取り出しに時間が必要であるため、利用しなくなった。
- 買った時は6人家族でごみの量が多すぎた。もっと大きい機械があれば良かったと思う。
(何回もやるのは大変だから。)
- 補助をいただいた機器は2年程で壊れ、すぐにまた補助は受けられないとのことで2台目を自費で購入し使用しています。
- 現在使用を中止し、一時保管場所として利用し、ごみの収集日に出している。
- 生ごみが減っているのに、処理している時の臭いが気になる。
- 以前はコンポストを利用していたが、エコロンボにしたら、細かい良い堆肥が出来使いやすいです。良い野菜が採れます。
- 水分の多い生ごみを入れると、虫が湧いたりモミガラをたくさん入れるようになるので、水分の少ないごみを入れるようにしています。
- 購入した時は、70,000円でした。市の補助が30,000円ありましたが、1回使っただけでそのまま倉庫に眠っています。
- 生ごみの量や重量が半減するので、非常に良い。また、家庭菜園肥料として使用できるので、大いに利用している。
- 昔の生ごみ処理機は、処理能力や不便な点が多かったが、最近の物は、良くなっていると聞いたので、新しい機種を購入したいと思っています。
- 当時市のごみの減量方針に協力の目的で購入したが、実用の点で効果が少なかった。
- 農機具店で紹介されたのが、現在使用している処理機で、7年程になります。秋にたくさん出るモミガラが主体なので、よい堆肥でき、畑に利用しています。でも最初の頃は、水分の多いまま投入すると固くなってしまい、攪拌羽根を2、3回折ってしまいました。生ごみを少し日に当てて、水分をとってから入れるようにしています。
- 購入した時よりも使用頻度はかなり減った。手入れも大変なので、機械がなければ、利用しない。
- 生ごみ堆肥化事業に参加して、今までがいかに面倒だったかを改めて感じています。処理できた生ごみは1/5程度で可燃ごみを出す度に補助金をいただいた事を申し訳なく思っていました。近隣の堆肥化事業参加者も高齢者をはじめごみ出しが楽になったと喜んでいきます。可燃ごみを減らすためにも全市内で生ごみ堆肥化推進と分別収集の細分化を図れば幸いです。
- 以前、生ごみ処理機器も各戸に1台あると理想的だと新聞に書かれてありましたが、洗濯機のように普及すると良いと思います。市の助成金を利用できて良かったと思います。

使用状況調査書式（家庭用）

生ごみ処理機器購入者使用状況調査

【該当する番号に○をつけるか、空欄に御記入下さい。】

質問1 あなたの住んでいる地区は。

- ① 御殿場 ② 富士岡 ③ 原里 ④ 玉穂 ⑤ 印野 ⑥ 高根 ⑦ 市外（ ）

質問2 あなたの居住する家は。

- ① 持ち家 ② 集合住宅（マンション・アパート等） ③ 会社の寮、社宅 ④ その他

質問3 世帯の人数は何人ですか。（ ）人

質問4 購入した生ごみ処理機器のメーカー・機種等は。

- ・メーカー（ ） ・機種名・型番（ ）
- ・処理量（1日あたり kg） ・購入年月（平成 年 月）
- ・タイプ…① バイオ型 ② 乾燥型 ④ 不明
- ・設置場所…① 室内用 ② 屋外用

質問5 生ごみ処理機を購入した理由は何ですか。（複数回答可）

- ① 生ごみが減れば、可燃ごみの量が減り、集積所へのごみ出しが楽になるから。
② ごみ箱感覚で使用でき、手軽で衛生的だから
③ 生ごみからできる堆肥を利用したかったから
④ 指定ごみ袋の節約になるから
⑤ ごみ減量やリサイクルに関心があるから
⑥ その他（ ）

質問6 生ごみ処理機器を現在も使用していますか。

- ① 使用している →質問7～12へ
② 使用していない →質問13・14へ

（以下、質問11までは、現在も生ごみ処理機器を使用中の方へ伺います）

質問7 生ごみ処理機の使用頻度は。

- ① ほぼ毎日 ② 週に3～4日 ③ 週に1～2日 ④ 不定期（ ）

質問8 生ごみ処理機器の使用により、生ごみは元の量と比較しておよそ何%に減っていますか。

- ① 10%以下（＝元々あった量の10分の1以下）
② 10～30% ③ およそ50% ④ 70～80%
⑤ 元の量とほとんど変わらない

質問9 処理済みの生ごみ（内容物）はどのようにしていますか。

- ① 堆肥として活用 →質問 10へ
- ② 可燃ごみ（指定ごみ袋）で集積所に出す→質問 11へ
- ③ その他（ ） →質問 11へ

質問 10 堆肥としての使用効果はどの程度あります。

- ① 堆肥のみで十分効果がある
- ② 堆肥と市販の肥料を組み合わせで施肥している
- ③ 堆肥を利用しているが、効果はあまりない
- ④ その他（ ）

質問 11 生ごみ処理機器を使用する際に気になる点がありますか。（複数回答可）

- ① におい ② 音 ③ 維持管理コスト ④ 特に無し ⑤ その他（ ）

質問 12 生ごみ処理機器を使用する際に大変なことは何ですか。（複数回答可）

- ① 発酵促進材、基材など消耗品の交換
- ② できた堆肥の取り出し
- ③ 投入してはいけない物（骨、貝殻等）が入らないようにすること
- ④ 機械の清掃
- ⑤ その他（ ）

（以下、質問 13・14は現在生ごみ処理機を使用していない方へ伺います）

質問 13 生ごみ処理機の使用を中止した時期はいつですか。

平成 年 月から

質問 14 生ごみ処理機の使用を中止した理由は何ですか。（複数回答可）

- ① 電気代がかかるから
- ② 処理量が少なすぎるので
- ③ 処理するのに時間がかかる
- ④ 投入してはいけないものなど、使用上の制約が多い
- ⑤ 清掃を頻繁にしなければならないので面倒くさい
- ⑥ においが気になるから
- ⑦ 堆肥として利用する機会がないから
- ⑧ 故障して使用できなくなったから
- ⑧ その他（ ）

*** 御協力ありがとうございました。**

以下に生ごみ処理機器を使用した感想・意見等、自由にお書き下さい。

※返信用の封筒に入れ 11月10日（火）までに投函して下さい。